

受診のご相談は

まずは電話にてお問い合わせください。

受付窓口 福祉医療相談科 依存症担当
Tel.045-822-0241(代)

予約受付時間 平日 午前8時30分～午後5時
ご利用までの流れは以下の通りです。

1)電話相談 ・初診予約	当センターは電話による完全予約制です。受診を希望される方は、お電話にてご相談ください。
2)専門診療	外来にて担当医が初診を行います。依存症病棟への入院適応となる場合は、入院日の設定を行います。 予約当日にお持ちいただくもの ・健康保険証 ・紹介状（診療情報提供書） （当センター以外の心療内科、精神科等を受診されたことがある方）
3)依存症 病棟見学	入院される方には、ご希望に応じて病棟スタッフが病棟内をご案内します。

福祉医療相談について

福祉医療相談科では、当センターの患者さんやご家族からのご相談にソーシャルワーカーが応じています。面接をご希望の場合はお電話でご予約ください。

1) 相談・面接予約

受付窓口 福祉医療相談科 Tel.045-822-0241

受付時間 平日午前8時30分～午後5時

2) 相談内容

- 病気の不安や、依存症の方へのかかわり方など
- 医療費制度、福祉サービス等の利用について
- 依存症の自助グループや施設等の案内

交通案内



■車でのご来院

【横浜横須賀道路】「別所」インター下車

出口交差点を右折、芹が谷中学校入口の交差点を右折後、約700m

■電車・バスでのご来院

【京浜急行・市営地下鉄】「上大岡駅」下車

(11番バス乗り場) 芹が谷方面バスにて15分
「芹が谷」下車、徒歩8分

【JR】「戸塚駅」下車

「東口」より井土ヶ谷経由横浜駅東口行きバスにて25分
「六ツ川四丁目」下車、徒歩5分

【JR】「東戸塚駅」下車

「東口」より井土ヶ谷下町行き又は横浜パークタウン行きバスにて10分
「六ツ川四丁目」下車、徒歩5分
又は芹が谷経由上大岡駅行きバスにて15分
「芹が谷」下車、徒歩8分

【京浜急行】「弘明寺駅」下車

「弘明寺口」より戸塚駅東口行き又は東戸塚駅東口行きバスにて10分
「六ツ川四丁目」下車、徒歩5分

依存症外来・病棟のご案内



患者さんを主体とした多彩な治療プログラムを準備し、回復への道を伴走します。

※神奈川県公共施設における受動喫煙防止条例により、病院の敷地内は全面禁煙となっております。



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター

〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-5-1
TEL 045-822-0241(代) FAX 045-822-0242
<http://seishin.kanagawa-pho.jp/>

外来治療

物質（アルコール、薬物）や行動（ギャンブル、ゲームなど）の依存症を対象とした専門外来です。ご本人への個別の治療だけでなく、集団プログラムや自助グループの紹介、日常生活に関する助言、福祉機関との連携、ご家族の相談などを通じて様々な職種で患者さんの回復を支援します。

入院治療

物質（アルコール、薬物）や行動（ギャンブル、ゲームなど）の依存症を主な対象とした専門病棟です。病棟生活を通して依存症の背景にある生きづらさを評価し、様々な職種で寄り添いながら患者さんの意思決定を支援します。

当病棟は原則として治療の意思が明確な患者さん（任意入院）を対象とし、急性期から回復期の治療を行っています。急性期には離脱症状に伴うイライラ、幻覚・妄想などの諸症状を緩和し、安全に過ごすことができるよう配慮しています。回復期には医師、看護師、ケースワーカー、臨床心理士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士などのスタッフだけでなく、断酒会、AA、NAや回復施設と協力し多彩なプログラムを提供しています。

患者さんには様々なプログラムのなかからご自身に適したプログラムを検討し、選択していただいています。

依存症病棟の1日

6:00	起 床
7:00	朝 食
9:45	ラジオ体操
10:00	プログラム
12:00	昼 食
13:00	プログラム
18:00	夕 食
21:00	消 灯

依存症治療のための集団プログラム (病棟・外来共通)

- **SARPP(せりがやアルコール依存再発防止プログラム)**
(Serigaya Alcohol Relapse Prevention Program)
ワークブックを用いてアルコール依存症について学ぶ全7回のプログラムです。アルコールをやめて断酒を続けるために必要な知識を得ることができます。
- **SMARPP16(せりがや覚せい剤依存再発防止プログラム)**
(Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program)
ワークブックを用いて薬物依存症の特徴や回復の方法について学ぶ全16回のプログラムです。
- **こいプロ(行動の依存に悩む方のためのプログラム)**
ワークブックを使い、ギャンブルや買い物、インターネット、ゲームなどの行動依存について学ぶプログラムです。その行動を止める／減らすだけでなく、その背景にある“生きづらさ”についても共に考えます。
- **SCOP(コミュニケーション体験学習)**
(Serigaya Collaboration for Open heart Project)
「自分の気持ちに気づく」「相手に自分の本音を伝える」「嫌なことは断る」など、コミュニケーションについて体験を通して学び、実生活に応用できるようになることを目指す全10回のプログラムです。(入院患者さんへはSCOPのエッセンスを4回で学ぶ「コミュニケーショントレーニング」を実施しています。)



入院患者さんのための依存症治療プログラム

- **木曜会**
参加メンバーで話し合いながら、入院生活や治療のために必要な活動を決めて実行します。
- **男性／女性のつどい**
男性／女性に分かれて参加する集団プログラムです。「どうして入院したのか」「これからどういう風に回復したいのか」など様々なテーマに沿って話したり、他の参加者の話を聞いたりすることを通して依存症について学びます。
- **作業療法 (ボディメンテなど)**
ウォーキングやストレッチなどで、頭からつま先まで全身をほぐし、“今”の体の状態や体力の程度をご自身で感じていただくためのプログラムです。
- **せりがや講座**
依存症治療にかかわるスタッフによる講義形式のプログラムです。医師、看護師、ケースワーカー、臨床心理士、薬剤師、管理栄養士がそれぞれの専門の立場から依存症について話します。

家族支援

依存症で悩む方のご家族を対象とした支援を行います。年数回の家族セミナーに加え、地域の依存症家族会や福祉機関の家族支援等、ご家族が頼れる地域資源をご紹介します。

